

事務事業評価表

○基礎情報

課名		指令情報課	作成責任者
施策目標	39	災害情報を統括・管理し、あらゆる活動を支援する	野島 肇

常勤職員		常勤職員以外			総従事者
管理職	左記以外	再任用短時間	臨時職員	非常勤嘱託職員	総人工
3 人	17 人	1 人	0 人	0 人	20.63 人

時間外勤務時間	
総時間	一人あたり月平均
2,110 時間	10.3 時間

1 施策指標と実績(Do)

施策指標名	4次実施計画の 現状値	目標値 (R2年度)	実績値		
			H28年度	H29年度	H30年度
消防緊急通信指令システムの安定運用	100%	100%	100%	100%	100%
0	0.0%	0			
0	0.0%	0			

(施策のねらい)

1	的確・迅速な出動指令
2	救命の連鎖の構築
3	0
4	0
5	0
6	0

(評価の見方) **S** 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった

C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める

2 未着手事業(計画していたが未実施に終わった)

A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった

D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない

実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実施予定のないものを含む)

2 政策的事業の実績(平成30年度)

事務事業の取組結果と成果(効果) (Plan / Do)											Check		Action	
No.	事務事業 (第4次実施計画)	施策	従事者数	会計区分	H29予算(円) H29決算(円)	H30予算(円) H30決算(円)	何・誰に対して どう働きかけた結果 どうなったか(生 (対象) (手段・方法) れた成果・効果)	事務事業の指標	H30目標値	H30実績値	評価	取組時間	事務改善	休・廃止
1	消防ポンプ自動車等整備事業(消防緊急通信指令システム等整備)	1	0.50	一般	3,724,000 ----- 3,378,240	3,708,000 ----- 3,477,600	救急自動車の更新に伴い、消防緊急通信指令システム改修及び無線機転載を行った。指令システムを良好な状態で活用できるよう維持管理し、出動部隊に的確かつ迅速な出動指令を行うとともに、指令システムの安定的な運用ができた。	事業の進捗状況	100%	100%	S	変動なし		
合計					H30 予算(円) ----- H30 決算(円)	3,708,000 ----- 3,477,600								

3 実施計画事業(政策的事業(政策的事業のない課はいは一般管理事務等))の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check) / 今後の展望(Action)	
<p>指令情報課の平成30年度の事務事業数は6事業あり、うち政策的事業は1事業である。政策的事業の評価結果は、「S」消防ポンプ自動車等整備事業(消防緊急通信指令システム等整備)1事業となっており、成果を出すことができた。</p> <p>事務事業の指標設定にあつては、指令業務の安定運用と的確かつ迅速な出動指令を実現するための指標設定ができていていると考える。</p> <p>事業の成果にあつては、「指令システムに係る知識や技術向上のための研修」、「救急に係る口頭指導の知識や能力の向上」などの人材育成を行うとともに、救急自動車更新に伴う消防緊急通信指令システム改修や無線機転載などを適切に行い、機器を良好な状態で維持することにより、24時間365日の安定運用を実現している。</p> <p>また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えて、災害活動支援に有効なシステムを導入しており、外国人からの119番等に対応した多言語通訳サービスの活用や聴覚障害者等に対する緊急通報システム(NET119)の広報活動を行い、市民に周知を図っている。</p> <p>職員の時間外勤務は、総時間2,110時間、一人当たり月平均10.3時間であり、前年度と同様の時間となっている。時間外勤務は災害件数により変動するもので、削減等の努力は難しいが、引き続き、効率的な業務遂行に向けて管理は必要である。</p> <p>指令情報課の事業は、119番通報の受付や消防部隊等への出動指令が主なものとなっており、達成度や実施効果を数値で示すことは難しいが、職員が災害対応や人命救助などの助けを求める市民の窓口となっていることを再認識することが重要となる。</p> <p>今後の展望として、多種多様化する119番通報に対して、的確かつ迅速な出動指令が求められており、人事異動後の新任通信指令員の教育体制を充実させることが必要となっている。よりの確かつ迅速な出動指令が行えるよう教育体制やマニュアルを確立させており、新任を含めた通信指令員の更なる知識及び技術の向上と市民サービスの充実を図る。</p>	

4 Actionにチェックの入った今年度「事務改善」を行う事業

No.	事務事業(事業がない場合は-)	事務改善の内容
-	-	-
-	-	-

5 Actionにチェックの入った今年度「休・廃止」を検討する事業

No.	事務事業(検討事業がない場合は-)	休・廃止検討の理由(1事業も検討できない場合はその理由を記載)
-	-	指令情報課の事業は、消防緊急通信指令システムを24時間365日良好な状態で適切に維持管理し、多種多様化する119番通報に対して、部隊に的確かつ迅速な出動指令を行う事業であることから、休・廃止の検討は困難と評価する。
-	-	-

6 働かたの見直しにおける取り組み結果(28-30年度の3か年の取り組みの結果、得られた生産性向上などの成果)

取り組みの結果
人材育成や業務改善のため、業務の各項目に定義を定め、見える化シートを作成することにより、各職員の能力を把握できるようになっている。職場内研修を定期的実施し、いつまでにどの職員のどの能力を伸ばして行くのか、組織として目指す目標を掲げ、職員が共通認識を持つことにより、組織全体のレベルアップを図っている。